

努力することの大切さ

校長 森 武晴

2学期は、3年生にとって進路決定の大事な学期でした。就職、進学共に全員よく頑張りが、ほとんどの人が決定に至っています。また、2年生、1年生は新人大会などの各種大会で頑張ってくれました。入賞や素晴らしい勝ちをあげた部が多くありました。文化部も対外的な活動を積極的におこなってくれました。農業クラブ全国大会においても、新基準で難しかったと思いますが、島農・長崎県の代表として頑張ってくれました。農業祭においては、それぞれが「おもてなし」の想いを持って、取り組み、また、2日目のステージ発表でも、素晴らしい盛り上がりを見せてくれました。感動し、感謝のあった農業祭でした。

2学期の初めに「繋ぐ」ことの大切さを話しましたが、3年生の進路決定も、2年生、1年生の頑張りが、そして、農業祭も、島農生、それぞれが、「想い」を「繋げ」、なしたものです。また、今年度初めに、皆さんに「感じて、感動 感謝」ということを示しましたが、これらの成果は、それぞれがいろいろなことを感じて、行動した結果でもあると思います。

令和6年度が終わって、繋がり、関わってもらった多くの人に感謝できるよう、頑張っていきましょう。

さて、今回は「努力」について話したいと思います。

努力するというのは、とても、めんどくさく、時間もかかり、大変だというイメージがあると思います。できれば楽をして、いいことをしたいと誰しも思います。

15年前のプロ野球ドラフト会議で、育成六位という低い評価である球団に入団した選手がいました。ドラフトの上位で入団した選手と比べ、育成六位では契約金や給料は全く異なります。上位で入団した選手は、力を認められたという自信をもって日々の生活を送ります。低い評価で入団した選手は、一軍に這い上がろうとドラフト上位の選手に負けないという思いを強く持って練習もたくさん行い、努力を重ねます。そして、その選手の努力が実を結び、入団から六年後、一軍に上がり、レギュラーを勝ち取り、WBCやオリンピックの日本代表として活躍します。

努力を表す英語には3つあるようです。

effort・・・日常的な努力、endeavor・・・長期間にわたる真剣な取り組み

strive・・・目標に向かって一生懸命努力すること

この三つを合わせると「日頃から 長く 真剣に取り組む 目標に向かって 一生懸命努力する」となるのでしょうか。自分のすべき目標をしっかりと考え、決め、それに向けて、皆さんが努力を重ね、夢を掴むことを願います。

あと10日程で、新年を迎えます。休業中に、来年の目標をしっかりと 考え、決めそれに向けて 新しい年、3学期以降、ここにいる皆さんが 努力を重ね、夢を掴むことを願って、2学期終業における講話とします。

令和6年12月（2学期終業式校長講話抜粋）